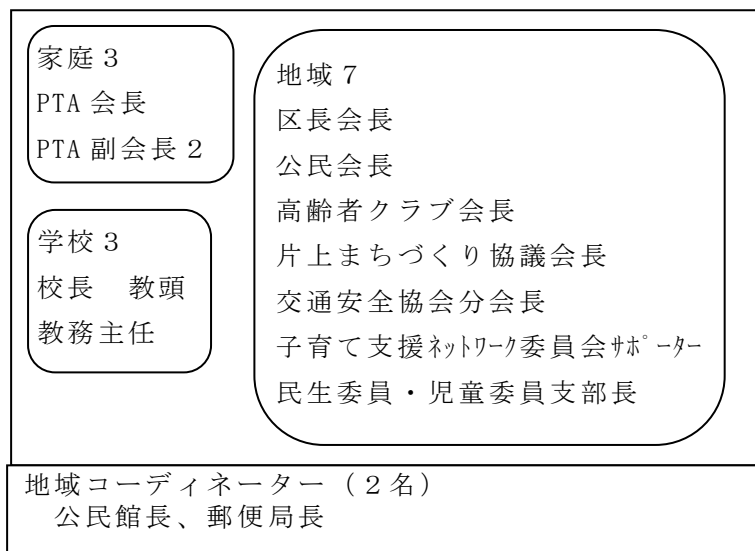


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ① 開催回数 3回
- ② 開催日程
 - ・ 6月20日 (木)
 - ・ 11月3日 (水)
 - ・ 2月21日 (木)
- ③ 協議内容
 - ・ 令和元年度スクールプラン
 - ・ 学校評価項目
 - ・ 児童の様子
 - ・ 学校評価結果
 - ・ 次年度の取り組み

(3) 協議会における成果と課題

さらに児童が自主的に地域の町おこしに参画できるような活動も計画していきたいと考えている。そのためにも家庭・地域・学校協議会や公民館、各種団体と連携・協議しながら計画的に進めていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

片上地区の歴史や文化などを調べたり体験したりする学習を通して、自分たちの住むふるさとに誇りと愛着をもち、それを大切にし、継承していこうと主体的に行動することができる児童を育てる。

(2) 活動の実際

① 手作りクッキーで町おこしのお手伝いをしよう (5年生)

町おこしのお手伝いがしたいと考え、片上地区の代表的な行事「片上春たんぼ」で手作りクッキーを販売した。今年は、「今北山古墳」を題材にした金型で、埴輪や勾玉などの形をした古墳クッキーを手作りして販売した。



②ふるさとと伝承料理体験（6年生）

ふるさとの伝統文化の素晴らしさを伝えたいと考え、伝承料理のレシピ作りのために地域の方に教えていただきながら調理体験をした。ふるさとの文化を受け継いでいく大切さを感じることができた。



（3）地域コーディネーターの活動概要

公民館長は、地域行事や学校行事において必要な物品の準備、講師の紹介や連絡調整、行事当日の活動補助など計画の段階から活動全般にわたって支援やアドバイスをしてくださっている。4年生が公民館に取材に行き、館長から片上地区のことについて教えていただいたことを壁新聞にまとめて地域の文化祭で発表した。郵便局長は、児童の町たんけんや地域のひみつ探しなどでお寺や建物、お店等を見学するときにご尽力いただいた。地域行事の中で、児童の活躍の場を設定したり、活動の補助をしたりしてくださった。地域コーディネーターの方お二人には、常日頃から、学校の教育活動全般にご協力やご助言をいただき、地域と学校をつなぐ太いパイプ役になっていただいている。



（4）特に工夫した事項

- ・児童が調べたことを他の学校や外国の方に発信し、片上地区の良さを伝えることができた。
- ・ふるさとを紹介するリーフレットを作成したり、伝承料理のレシピをまとめたりすることによって、伝統や文化を受け継ぎ、伝えていこうという意識を高めることができた。
- ・既存の行事も教師主導ではなく、児童が地域コーディネーターのアドバイスを受けながら、自ら計画して活動できるようにした。

（5）成果と課題

昨年に引き続き、今年度も総合的な学習の時間を使って、各学年でふるさと学習を積極的に進めてきた。学習後の振り返りでは「ぼくたちの住む町でも……」「もっと私たちのふるさとを……」等、これからはもっとふるさとを大切にしたいという思いが書かれていた。児童は調べ学習や貴重な体験学習を通してふるさとを知ることにより、ふるさとを大切にしたいという思いが強くなってきたと思われる。今後も地域の方々や保護者の協力を得ながら、公民館や各種団体と連携を取って計画的にふるさと学習を推進し、よりよいふるさと作りのための提案や発信ができるような取り組みを進めていきたいと考えている。